

## 【北海道新聞に掲載されました】

8月28日(火)から9月3日(月)の期間、本校から韓国・素明女子高等学校へ交換留学を行っており、本校からは生徒8名、教職員3名が参加しています。8月30日(木)の午前中は現地の特別支援学級の生徒が開設したカフェで、国際交流ボランティアのメンバーと触れ合い、午後は光明洞窟の見学を行いました。

**韓国に短期留学の羽幌高生**

**支援学級カフェで交流**

【富川(韓国) 長谷川賢】韓国・富川市の素明女子高への短期留学3日目の30日、羽幌高の生徒たち8人は現地の特別支援学級の生徒らが開設した校内カフェで、国際交流ボランティアのメンバーらとにぎやかに会話を楽しんだ。

カフェは障害のある生徒らが週一回開設。羽幌高生の歓迎式を開いた国際交流ボランティアやホームステイ先の女子生徒ら約50人が集まり、アイスティーとスポンジケーキが振る舞われた。

両校の生徒たちは入場トフォンの翻訳アプリや身ぶり手ぶりを駆使しながら会話。一緒に写真を撮ったりアドレスを交換したりした。「日本で有名なフー校内カフェで親睦を深める羽幌 素明両校の生徒たち」



食べ物は？」と日本語で質問された2年の池田亜里沙さん(16)は「抹茶のアイスが有名。羽幌は甘エロがおいしい」と笑顔で答えていた。

■同行記者ひと言  
アイドル並み  
男子生徒人気

女子高生パワーに圧倒されている羽幌高の男子生徒たち。「さっし、かわいい」と黄色い声飛びます。1年の堤伶央さん(16)は「アイドルになった気分」と女の子たちに笑顔で手を振りまします。授業の休み時間には囲まれて質問攻めに。「好きなアイドルはいますか?」「この学校で一番かわいいと思う子は?」。

今回の短期留学では8人のうち2人が男子です。井原聖聖さん(16)は「人生の中で、めったにないモテ期と楽しそう。」「今度は羽幌で会いましょうって話します」と余裕の表情の堤さん。これも貴重な体験になることでしょう。

(長谷川賢)